

#### 4. 関係機関協議資料作成

実施設計段階の基本設計会議に係る環境部会及び国土交通省等との協議資料を作成した。関係機関との事前協議概要を表-4.1、事前協議および環境部会での指摘事項を表-4.2に示す。

協議資料は別冊として、「犀川辰巳治水ダム基本設計会議(実施設計)環境部会資料 平成19年2月20日」にまとめた。

表-4.1 関係機関事前協議概要

年月日	関係機関	事前協議内容								
		大気環境	水環境	地形・地質	動植物	生態系	景観	合人との活動との場の触れ	廃棄物	貯留制限
1	H18.8.8 国土交通省河川環境課 薄田係長	○	○	○	○		○	○		
2	H18.8.24 土木研究所 水工研究グループ 箱石上席研究員 水循環グループ 鈴木上席研究員		○							
3	H18.9.13 土木研究所 水循環グループ 鈴木上席研究員		○							
4	H18.9.25 国土交通省河川環境課 薄田係長	○	○	○	○		○	○		
5	H18.11.13 土木研究所 水工研究グループ 箱石上席研究員		○							
6	H18.11.14 国土交通省河川環境課 薄田係長		○							
7	H18.11.30 国土技術政策総合研究所 河川環境研究室 藤田室長 土木研究所 水環境研究グループ 天野上席研究員				○	○				
8	H18.12.22 国土交通省河川環境課 薄田係長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	H18.12.27 国土技術政策総合研究所 河川環境研究室 藤田室長 土木研究所 水環境研究グループ 天野上席研究員				○	○				
10	H19.1.15 国土交通省河川環境課 薄田係長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	H19.1.25 国土技術政策総合研究所 河川環境研究室 藤田室長					○				

表-4.2(1) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.8.8 国交省）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.8.8 13:00～	国土交通省 1F会議室	国土交通省 河川環境課 環境保全係 薄田係長 県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長 株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■、■■■	1.辰巳ダム（本体実施設計）基本設計 会議（環境部会）に向けての作業方 針について 2.犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設 計）環境部会 打合せ資料	

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	今後の作業方針・工 程について	今後の作業方針・工程表については、基 本的に了承を得た。	—	—	
2	〃	水環境については、まず土研（箱石上席、 鈴木上席）との協議を行い、本省との協 議はその報告程度とする。	指摘どおり、まず土研との協議 を実施する。	—	8/24 実施
3	〃	動植物・河川生態系については、国総研 （藤田室長）・土研（天野上席）と協議を 行い、作業を進めていくものとする。	指摘通り、国総研・土研と協議 を実施する。	—	11/30 実施
4	協議資料について	資料の内容については、概ね了承を得た。	—	—	

表-4.2(2) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.8.24 土研）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.8.24 15:00～	土木研究所 7F会議室	土木研究所 水工研究グループ 箱石上席研究員 水循環グループ 鈴木上席研究員 県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長 株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■	1.辰巳ダム（本体実施設計）基本設計 会議（環境部会）に向けての作業方 針について 2.犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設 計）環境部会 協議資料	

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	今後の作業方針・工 程について	今後の作業方針・工程表については、基 本的に了承を得た。	—	—	
2	協議資料について	内川ダムにおいて、クロロフィルaの値 が高かった時期についてデータを整理 し、今後の富栄養化に関する検討方針を 立てておくこと。	内川ダムの流況、気象条件、取 水状況など整理し、今後の方針 を検討する。	左記の通り検討、資料に記載した。	

表-4.2(3) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.9.13 土研）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.9.13 9:30～	土木研究所 7F 会議室	土木研究所 水循環グループ 鈴木上席研究員	1. 内川ダム富栄養化の現状と今後の方針（案）	
		県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長、小野主任技師		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	富栄養化の現状について	前回指摘のあった内川ダムのクロロフィルaの値が高かった時期の状況及び水道・農業用水等への影響についての説明内容については了承を得た。	—	—	
2	今後の検討方針について	内川ダムにおいて富栄養化現象による問題が生じる可能性は低いと考えられるが、今後、継続的に水質調査を実施し、その結果を踏まえて、再度試験湛水段階の環境部会で検討する。	—	試験湛水までに水質調査を継続し、データの蓄積を図る。	

表-4.2(4) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.9.25 国交省）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.9.25 10:00～	国土交通省 1F 会議室	国土交通省 河川環境課 環境保全係 薄田係長	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■、■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	動植物について	資料の内容については、概ね了承を得た。	—	—	
2	大気環境、景観について	資料の内容については、概ね了承を得た。	—	—	
3	水環境について	土研協議結果（9/13）について報告した。資料の内容については、概ね了承を得た。	—	—	

表-4.2(5) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.11.13 土研）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.11.13 16:00～	土木研究所 6F 会議室	土木研究所 水工研究グループ 箱石 首席研究員	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 常田 課参事、納橋 専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本 主幹兼係長、野村（敬） 専門員		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	水環境：既設ダムにおける検証計算について	既設犀川ダム、内川ダムの水温にかかる検証計算の内容については妥当と判断された。 但し、流入水温の算出の際に使用した水温と気温の相関式について他の方法と比較して妥当性を整理すること。	指摘通り、整理した。	左記の通り修正した。	

表-4.2(6) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.11.14 国交省）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.11.14 10:30～	国土交通省 1F 会議室	国土交通省 河川環境課 環境保全係 薄田 係長	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 納橋 専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本 主幹兼係長、野村（敬） 専門員		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	水環境：既設ダムにおける検証計算について	土研協議結果（11/13）について報告した。 資料の内容については、概ね了承を得た。	—	—	

表-4.2(7) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.11.30 国総研）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.11.30 13:30～	国総研 6F 会議室	国土技術政策総合研究所 河川環境研究室 藤田室長 (独)土木研究所 水環境研究グループ 天野上席 県河川課 ダム建設室 納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 架間所長、橋本主幹兼係長、 野村(敬) 専門員 株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議(実施設計) 環境部会 協議資料	

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	植物	原則として予測評価範囲内で評価を行い、他の地域の生育状況は付帯情報とする。必要に応じて保全措置については有識者と再度協議する。	左記の通り、予測評価を再検討する。保全措置については、有識者の意見から、移植は実施せず、生育環境の創出を実施する。	対応方針通り。	その後、指摘があり、移植も検討することとした。
2	陸域生態系の典型性	「斜面林」への試験湛水による影響について、構成樹種、生息環境としての役割から評価する。	左記の通り整理し、再評価する。樹林への影響については、九谷ダムの事例から残る樹木もあること、上流の斜面林の分布を示し、将来的には成立する可能性が高いことを示す。	対応方針通り。	
3	河川域生態系の典型性	湛水区間の冠水頻度については、大きな縮尺の図面に変更する。	左記の通り修正する。	修正済み。	
4	河川域生態系の典型性	治水専用ダムの問題点としては、出水時に流下した微細な河床材などが堆積することである。他ダムの事例（益田ダム）を参考に予測評価を行うこと。また、モニタリングは必要。	左記の通り、河床材料の粒度を整理し、益田ダムの事例を参考に予測評価を実施する。	洪水波形を想定し、湛水により変化する水深・流速から時間ごとの移動限界粒径を算出した。	
5	陸域生態系特殊性	洞窟への対応について整理すること。	左記の通り、整理する。	原則として洞窟は閉塞した方がよいので、最低限試験湛水時には生息環境が消失する。そのため、誘導実験を行うこと、影響のないCL-2の閉塞坑口を開けることを提案する。	有識者へ確認済み
6	河川域生態系移動性	設計ベースの検証（流速など）があった方がよい。	移動性の該当種を選定し、魚道機能の検証を行う。	低水放流設備などの図面を添付した。	魚道の詳細は検討中。

表-4.2(8) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.12.22 国交省）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.12.22 10:00～	国土交通省 河川課資料室	国道交通省河川環境課 薄田係長	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 野村（敬）専門員		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■、■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	全般	概ね了承される。 後日、精査して指摘事項を連絡する。	河川環境課からの連絡を持って対応する。	メールでの指摘事項について、対応した。	
2	廃棄物等	廃棄物の記述方法について、現在協議中のため、決定次第、連絡する。	河川環境課からの連絡を持って対応する。	左記の通り対応した。	

表-4.2(9) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H18.12.27 国総研）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H18.12.27 13:00～	国総研 524 会議室	国土技術政策総合研究所 河川環境研究室 藤田室長 (独)土木研究所 水環境研究グループ 天野上席	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 野村（敬）専門員		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■、■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	植物	植物の重要種の影響評価における対応策の分類について、説明し、県案で了承される。	—	—	
2	生態系（陸域典型性）	生態系の典型性における斜面林の影響評価について、説明し、県案で了承される。	—	—	
3	生態系（河川域典型性）	洪水時に堆積する土砂が、洪水後に下流へ与える影響については、他ダムの検討事例を参考にし、整理しておく。	島根県益田川ダムの事例を参照して整理する。	益田川ダムの事例に沿って、資料を修正した。	
4	生態系（特殊性）	生態系特殊性における洞窟性コウモリへの保全措置等について説明し、県案で了承される。	—	—	
5	生態系（移動性）	生態系移動性に係る影響評価について説明し、県案で了承される。	—	—	

表-4.2(10) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H19.1.15 国交省）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H19.1.15 10:00～	国土交通省 河川局会議室A	国土交通省河川環境課 薄田係長	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	全般	国総研藤田室長、土研天野上席からの指摘事項及び対応方針を説明し、了承される。	—	—	
2	貯留制限	内容については概ね了承される。資料をカラーにするなど見やすい工夫を行う。	左記の指摘通り修正する。	—	

表-4.2(11) 基本設計会議（実施設計）環境部会 事前協議内容及び対応方針（H19.1.25 国総研）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H19.1.25 10:00～	国総研 532 会議室	国土技術政策総合研究所 河川環境研究室 藤田室長	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	河川域生態系	洪水時に湛水区域内に堆積する土砂について、簡略な計算を行い予測評価をすること。	河床変動計算を行う。	河床変動計算を行い、洪水後の下流への影響について検証した。	

表-4.2(12) 基本設計会議（実施設計）環境部会 協議内容及び対応方針（H19.2.6 環境部会）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H19.2.6 13:00～	国土交通省 河川局会議室A	国道交通省河川環境課 原田課長補佐 ほか	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■、■■■、 総合技術部 ■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	水環境	辰巳ダム供用前の内川、犀川ダムにおけるポーレンバイダーモデルの検討結果の整合性を確認すること。	確認し、必要に応じて資料を修正する。	確認した事項を資料に追加した。	左記の内容について、改めて部会を開催することとなった。
2	〃	辰巳ダム供用に係わる水質予測については、辰巳ダム建設事業による影響予測について重点的に整理すること。	資料の構成等を見直し、修正する。	資料の構成を変更した。	
3	動植物・生態系	辰巳ダム洪水時の堆砂予測計算について、洪水後に土砂の堆積がみられることから、河床材料の変化についても検証すること。	既往の調査データを用いて検証する。	堆砂シミュレーション結果などを用いて、現況とあまり変わらないことを検証した。	

表-4.2(13) 基本設計会議（実施設計）環境部会 協議内容及び対応方針（H19.2.20 環境部会）

協議概要				
年月日	場所	出席者	配付資料	備考
H19.2.20 15:00～	国土交通省 河川局会議室A	国道交通省河川環境課 原田課長補佐 ほか	1. 犀川辰巳ダム基本設計会議（実施設計）環境部会 協議資料	
		県河川課 ダム建設室 常田課参事、納橋専門員 辰巳ダム建設事務所 建設係 橋本主幹兼係長		
		株式会社 アイ・エヌ・エー 環境第一部 ■■■、■■■		

協議内容及び対応方針					
No.	項目	指摘事項	対応方針	対応状況	摘要
1	水環境	辰巳ダム供用前の内川、犀川ダムにおけるポーレンバイダーモデルの検討結果の整合性を確認した結果について報告し、了承される。	—	—	
2	〃	辰巳ダム供用に係わる水質予測については、辰巳ダム建設事業による影響予測についてあらためて説明し、了承される。	—	—	
3	動植物・生態系	辰巳ダム洪水時の堆砂予測計算について、現況と大きな違いがないことを説明し、了承される。	—	—	
4	全般	今後のモニタリング等については、必要に応じ、土研、国総研と協議すること。	必要に応じ協議する。	—	